

福岡市総合図書館

映像ホール

FUKUOKA CITY  
PUBLIC LIBRARY  
MOVIE HALL

# シネラ

# NEWS

# 2

FEBRUARY

1999 No.31



ガンジスの流れる国

## ■ 特 集 ■

韓国映画の巨匠

兪賢穆(ユ・ヒョンモク)  
監督特集

反骨のドキュメンタリスト  
亀井 文夫監督特集



## ■ 特別企画 ■

歌と踊りが溢れる  
インド娯楽映画の世界



# 特集 韓国映画の巨匠 兪賢穆(ユ・ヒョンモク)監督特集

60年代を代表する監督であり、「戦後韓国映画の父」「韓国映画の良心」と讃えられるユ・ヒョンモク監督の代表作を特集

会期：2月3日(水)～2月7日(日)  
観覧料：500円(大人)／400円(大学生・高校生)／300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

2月4日(木)14:00／2月6日(土)15:00

## 誤発弾 A aimless bullet



1961年／35ミリ／モノクロ(108分)／韓国  
[日本語字幕付き] 監督：兪賢穆(ユ・ヒョンモク)  
出演：金振奎(キム・ジンギョ)、崔戊竜(チェ・ムリョン)  
朝鮮戦争後の時代、ソウルに住む計理士チョルホと彼の家族を描いた作品。戦争で人生を狂わされた人々の出口を見いだせない絶望が、イタリアのネオリアリズムを思わせるタッチで描かれており、時代を写す韓国映画史上屈指の問題作と言われ、評価の高い作品。

2月3日(水)19:00／2月6日(土)11:00

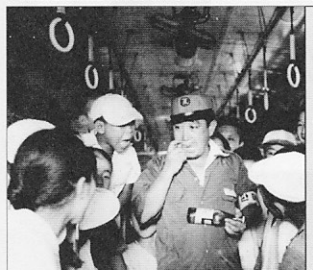
## 金薬局の娘たち The daughters of the pharmacist Kim



1963年／35ミリ／モノクロ(107分)／韓国  
[日本語字幕付き] 監督：兪賢穆(ユ・ヒョンモク)  
出演：崔智姫(チェ・ジヒ)、金東園(キム・ドンウォン)  
女性作家パク・キョンニの同名小説の映画化。19世紀後半から1930年代まで、激動の時代に翻弄される金一家の女性達の年代記である。ロングショットを多用し大勢の人間を登場させることで、ある家族を描きながら韓国社会と民族を描こうとしている。ユ・ヒョンモク監督の代表作の一本である。

2月3日(水)14:00／2月5日(金)19:00／2月7日(日)11:00

## 修学旅行 A school excursion to Seoul



1969年／35ミリ／カラー(103分)／韓国[日本語字幕付き]  
監督：兪賢穆(ユ・ヒョンモク)  
出演：具鳳書(ク・ボンソ)、文姫(マン・ヒ)  
小さな島に赴任した教師は子供達が外の世界を全く知らないことに驚き、広い世界を見せようと、ソウルへの修学旅行を計画する。純朴な子供達が都会で感じるカルチャーショックや発見が生き生きと描かれている。テヘラン国際映画祭児童部門特別賞受賞。

2月4日(木)19:00／2月5日(金)14:00／2月7日(日)15:00

## 長雨 Rainy days



1979年／35ミリ／カラー(125分)／韓国[日本語字幕付き]  
監督：兪賢穆(ユ・ヒョンモク)  
出演：黄貞順(ファン・ジョンソン)、金石薫(キム・ソクン)  
朝鮮戦争の時代、ある村の一つの家族を中心に、村の人々が北と南に別れて戦うようになる様子を克明に描いていく。南北に分断された民族の悲哀、戦争で亡くなった人々への哀悼と祈りが家族の物語の中に集約されており、ユ・ヒョンモク監督の70年代の代表作と評価される作品。

# 特集 反骨のドキュメンタリスト 亀井 文夫監督特集



戦前から戦後にかけて活躍した反骨のドキュメンタリスト・亀井文夫。日本を代表するドキュメンタリストである亀井文夫の代表作を特集。

会期：2月10日(水)～2月14日(日)  
観覧料：500円(大人)／400円(大学生・高校生)／300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

2月10日(水)19:00／2月11日(木・祝)11:00

## 上海



1938年／35ミリ／モノクロ・ドキュメンタリー(77分)／東宝 監督：亀井文夫  
中国大陸での戦闘と現地の状態を伝えることを目的として企画されたドキュメンタリー。激しい戦闘の後の廃墟のような上海の街並み、中国人の捕虜や避難民達、日本軍の宣撫工作等が描かれており、亀井文夫は冷徹な視線で戦争の悲惨さや日中戦争の本質に迫っている。

2月11日(木・祝)15:00／2月13日(土)11:00

## 戦う兵隊



1938年／35ミリ／モノクロ・ドキュメンタリー(66分)／東宝 監督：亀井文夫  
陸軍省情報部の後援により製作されたドキュメンタリー。武漢攻略作戦に従事する兵士たちの日常の姿が中心になっており、映画の中に戦闘シーンがない。むしろ歩き疲れた兵士達と、中国民衆の悲惨な姿が描かれていることが軍の怒りを買い、上映禁止となる。亀井文夫の代表作とされるドキュメンタリーである。

2月10日(水)14:00／2月13日(土)15:00

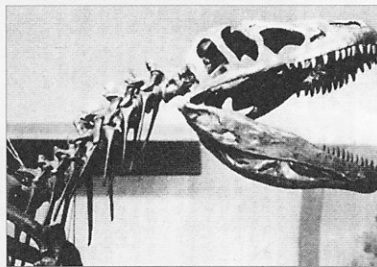
## 日本の悲劇／生きていてよかった



◆日本の悲劇…1946年／35ミリ／モノクロ・ドキュメンタリー(39分)／日本映画社 ◆生きていてよかった…1956年／16ミリ／モノクロ・ドキュメンタリー(49分)／日本ドキュメントフィルム 監督：亀井文夫  
「日本の悲劇」は戦前・戦中に撮影されたニュースフィルムを素材にして、戦争の実体と戦争責任の追及をテーマに製作された映画。「生きていてよかった」は広島、長崎への原爆投下から10年にわたる被害者の苦しみを詳細な現地調査により描いた反核ドキュメンタリー。55年に開催された第1回原水爆禁止世界大会の被爆者救済運動の一環として企画された作品。

2月12日(金)14:00／2月14日(日)14:00

## 生物みなトモダチ ートリ・ムシ・サカナの子守歌



1987年／16ミリ／カラー・ドキュメンタリー(166分)／日本ドキュメントフィルム 監督：亀井文夫  
自然と人間の共生という壮大なテーマに取り組んだドキュメンタリー映画の巨匠・亀井文夫の遺作。この映画の副題は「鳥になった人間のシネ・エッセイ」であり、監督が鳥の視点から様々な映像をコラージュする手法がとられている。強烈なメッセージによる文明批判が展開される。

## 福岡市総合図書館ミニシアター

プリティッシュ・カウンスル(特別協力)  
イギリス映画会特別上映

2月6日(土)14:00

上映作品：  
[RARG](1988/18mins)  
[THE BROOCH PIN AND THE SINFUL CLASP](1989/18.5mins)  
[A GRAND DAY OUT](1989/23mins)  
[THE HILL FARM](1988/18mins)  
[GRAND NATIONAL](1989/8mins)  
[SECOND CLASS MAIL](1984/2mins)

## National Film and Television School Animation Package

ロンドン郊外ベークンズフィールドにある国立フィルム&テレビ学校 (NFTS) は、英国で最もレベルの高い映画学校として定評があり、世界で活躍するアニメーターの多くがNFTSの大学院出身です。今回は1984年から1990年にわたって製作されたアニメーションの中から特に評価の高かった6作品をご紹介します。 ※日本語字幕なし



[A GRAND DAY OUT]

観覧無料

会場：福岡市総合図書館ミニシアター  
お問い合わせ：092-752-3750 プリティッシュ・カウンスル福岡オフィス



特別 歌と踊りが溢れる

企画 インド娯楽映画の世界

世界一の映画製作本数を誇るインドのメインストリーム。  
歌と踊りに溢れるインド娯楽映画の歴史的な名作の特集

主催：福岡市総合図書館 フィルム提供：インド大使館・国際交流基金  
協力：(財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)  
会期：2月17日(水)～2月21日(日)／2月24日(水)～2月26日(金)  
観覧料：800円(大人)／600円(大学生・高校生)／400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※福岡市在住の障害者の方及び福岡市在住の65才以上の方は400円。(手帳の提示が必要です)

2月21日(日)11:00／2月24日(水)14:00

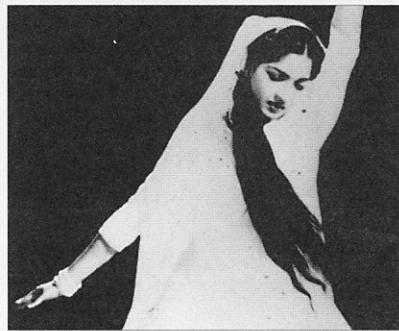
火 Fire



1948年／35ミリ／白黒(134分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ラージ・カプール  
主演：ラージ・カプール、ナルギス  
少年時代から芝居に魅せられた男が、他の男と結婚してしまった深い初恋の相手の面影を追い求めていく物語。ラージ・カプールの初監督作品であり、彼の原点といえる作品である。怪奇仕立ての作品で、スタイリッシュな映像と語り口が際立つ。

2月17日(水)14:00／2月18日(木)18:00

この命 踊りに捧げて Anklet jingles



1955年／35ミリ／カラー(152分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：V.シャーントラーム  
出演：サンテヤー、ゴビー・クリシュナ

古典舞踊を極めようと努力する娘・ニーラと、彼女を指導する舞踊の師・マハーラージと彼の息子・ギルダルの物語。ニーラとギルダルの禁断の愛の中に、インド古典舞踊の素晴らしい世界が描かれていく。ギルダルを演じる踊りの名手ゴビー・クリシュナの超絶的な舞踊が見所である。

2月19日(金)18:00／2月20日(土)11:00／2月24日(水)18:00

雨季 Rain



1949年／35ミリ／白黒(165分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ラージ・カプール  
出演：ラージ・カプール、ナルギス

都会から山に避暑にやってきた、対照的な性格の二人の青年が経験する、村の娘達との恋の物語。ラージ・カプールの監督第2作で、全編が歌で彩られており全11曲の歌が挿入されている。まるで歌の合間にストーリーが進行するような映画で「ミュージカルの経典」の一つと呼ばれる作品。

2月17日(水)18:00／2月18日(水)14:00

ガンジスの流れる国 The country where river Ganges flows



1960年／35ミリ／カラー(181分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ラドゥー・カルマカール  
出演：ラージ・カプール、バドミニ

1947年の独立後に数多く製作された理想主義的リアリズム映画の代表作。心清らかな青年ラーजूが盗賊達を改心させるという物語で、主演のラージ・カプールの演技と、主題歌の「ガンジスの流れる国」は今も多くの人々に愛されている。

2月21日(日)15:00

私はピエロ I'm a clown



1970年／35ミリ／カラー(187分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ラージ・カプール  
出演：ラージ・カプール、リシ・カプール

サーカスでピエロを演じる主人公ラーजूの生涯を描いた大作。監督のラージ・カプールが自分の人生哲学の全てを注ぎこんで製作した作品で、主人公の少年期、青年期、壮年期と三部構成になっている。ラージ・カプールが監督、主演を兼ねた最後の作品となった。

2月25日(木)18:00／2月26日(金)14:00

黒いダイヤ Black stone



1979年／35ミリ／カラー(171分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ヤシュ・チョープラー  
出演：アミターブ・バッチャン、シャシ・カプール

炭坑で働く主人公と資本家の対立を軸にした社会派の異色作。アミターブ・バッチャンをはじめ当時人気のオールスターキャストで製作された作品。ウィノード・カンナー、リシ・カプール等それぞれのスターに個性的な役割と見所が配置され、娯楽作品としても十分観客を満足させるものとなっている。

2月19日(金)14:00／2月25日(木)14:00／2月26日(金)18:00

ボビー Bobby



1973年／35ミリ／カラー(170分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ラージ・カプール  
主演：リシ・カプール、ディンバル・カパーディヤ

大金持ちの一人息子ラージャーと網元の娘ボビーの愛の物語。家柄が違うと両親に反対されても二人は愛を貫いていく。インド版の「ロミオとジュリエット」という内容で、アジア各国で大ヒットした映画。ボビー役のディンバル・カパーディヤは当時まだ16才で、その初々しさは多くの人を魅了した。

2月20日(土)15:00

カランとアルジュン Karan Arjun



1994年／35ミリ／カラー(175分)／インド[日本語字幕付き]  
監督：ラーケーシュ・ローシャン  
出演：シャー・ルク・カーン、サルマーン・カーン

財産を狙う従兄弟に殺される双子の兄弟カランとアルジュン。二人は輪廻により生まれ変わると、前世の記憶を蘇らせ、復讐を果たす。「ラジュー出世する」で日本でもお馴染みのシャー・ルク・カーンが主演しており、95年上半期のナンバーワンヒットとなった作品。

特別講演 「インド映画は極楽浄土」

出演：友成純一(作家・映画評論家)  
日時：2月21日(日) 14:00～14:40  
入場料：800円(大人)／600円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

※福岡市在住の障害者の方及び福岡市在住の65才以上の方は400円。(手帳の提示が必要です)  
※講演会に入場の方はそのまま3時からの映画も鑑賞できます。

友成純一プロフィール：1954年、福岡県生まれ。1976年探偵小説雑誌「幻影城」の第2回新人評論部門賞で評論家デビュー。80年には「陵辱の魔界」で作家としてデビューする。以後幅広くエンターテインメント小説を執筆し、同時に映画評論家としてもキネマ旬報に執筆するなど活躍中。「宇宙船ヴァニスの歌」「人獣裁判」「内蔵幻視」等著書多数。



友成純一氏



▼ 映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内容
2	1	月	休館日
	2	火	上映はありません
	3	水	14:00 修学旅行 19:00 金葉局の娘たち
	4	木	14:00 誤発弾 19:00 長雨
	5	金	14:00 長雨 19:00 修学旅行
	6	土	11:00 金葉局の娘たち 15:00 誤発弾
	7	日	11:00 修学旅行 15:00 長雨
	8	月	休館日
	9	火	上映はありません
	10	水	14:00 日本の悲劇／生きていてよかった 19:00 上海
	11	木・祝	11:00 上海 15:00 戦う兵隊
	12	金	14:00 生物みなトモダチ —トリ・ムシ・サカナの子守歌
	13	土	11:00 戦う兵隊 15:00 日本の悲劇／生きていてよかった
	14	日	14:00 生物みなトモダチ —トリ・ムシ・サカナの子守歌
	15	月	休館日
	16	火	上映はありません
	17	水	14:00 この命 踊りに捧げて 18:00 ガンジスの流れる国
	18	木	14:00 ガンジスの流れる国 18:00 この命 踊りに捧げて
	19	金	14:00 ポビー 18:00 雨季
	20	土	11:00 雨季 15:00 カランとアルジュン
	21	日	11:00 火 14:00 友成純一講演会 15:00 私はピエロ
	22	月	休館日
	23	火	上映はありません
	24	水	14:00 火 18:00 雨季
	25	木	14:00 ポビー 18:00 黒いダイヤ
	26	金	14:00 黒いダイヤ 18:00 ポビー
	27	土	自主上映「百貨店大百科」
	28	日	休館日

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御了承ください。

各団体の自主上映

2月27日(土)「百貨店大百科」(予定)

主催：福岡映画サークル協議会

TEL：092-781-2817

※自主上映会の上映時間、内容など詳細については直接主催者にお問い合わせ下さい。

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影された8ミリビデオや各行事の記録ビデオの編集などにご利用できます。

(使用料1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介や上映スケジュール、図書館で開催される各種イベント等の情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。定期購読を希望される方は99年4月より2000年3月号迄の月数分の郵便切手(90円切手×月数分)を同封して下記宛先までお申し込み下さい。

宛先：〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館映像資料課まで

映像ホール利用申し込みについて

平成11年6月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

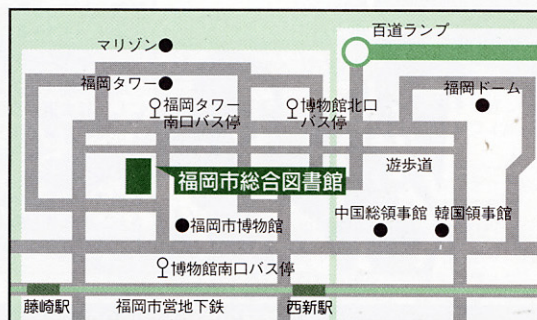
期間：平成11年6月23日(水)～6月27日(日)  
平成11年7月28日(水)～8月1日(日)

但し7月31日(土)は休館日

6/23～6/27は1月6日(水)11時より受付

7/28～8/1は2月2日(火)11時より受付

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL:092-852-0608までお問い合わせ下さい。



交通機関：地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分

西鉄バス博物館南口および

福岡タワー南口バス停留所より1分

都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

印刷：(株)ドミックスコーポレーション

お問い合わせは

福岡市総合図書館(代): 092-852-0600 映像資料課: 092-852-0608 Fax: 092-852-0609

